

ゆとりの会だより

NO.15

発行 平成7年2月20日

平成7年2月4日(土)午前10時より生野デイサービスセンターで定例会が開催されまして、次のようなお話しがありました。

○家族の会の名称

つくしんぼ、たんぽぽ、ふれあいステップ、ファミリー生野
ゆとりの会、カーとぴあ、赤とんぼ、柏の会 等の中から
「ゆとりの会」と決定致しました。

○会員の住所と地図などを作成し、緊急時の助け合いに使うと良い のではないか。

○会員の出席を促し、また参加しにくい人々へ伝達が出来るように 地域ごとの電話連絡網を作成することとする。(平成7度より活用)

○特老のお話し

特老を利用しておられる方から施設に入れる時は、その施設の
内容、日々のこと等々をよく把握して入所されるのがよいと
お話しがありました。

○完全看護の病院のお話し

奈良東病院が完全看護してくれるので助かったというお話しが
ありました。

○M氏

だんだん無表情になり、食事も自分で食べることに意欲を示さ
ない、パンツのあげおろしも声をかけることが必要で困ってい
る、というお話しがありました。

病人の世話には根気が必要、くり返し気長にかかるわたることが一番効果が
上がる。

デイサービスのような施設が週に一回と云わず、その患者の必要に応じて
人と交わる機会を多くもてるような事が出来たらよいと思います。

<職員の 南 葉さんのお話し>

「ゆとりの会」とはほんとうによいと思う。

ゆとりがないととても世話は出来ない。

来年度はゆとりのある計画をしていただきたい。

土、日でもボランティアとして参加致します。

次回は3月9日(木) 於生野保健所で定例会(交流会)を開催致します。